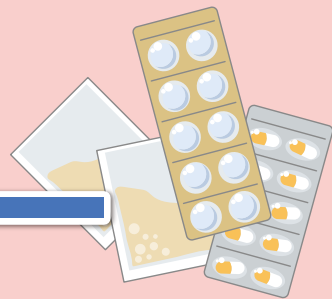


薬、いくつ
飲んで
いますか？

多剤服用にご注意を！

ポリファーマシー



必要以上に多くの薬を服用しているために、副作用を起こしたり、きちんと薬が飲めなくなったりしている状態を「ポリファーマシー」といいます。

ポリファーマシーが招く リスク

同じ効能の薬や成分が重複し、**薬の相互作用**や**予期せぬ副作用が起こるリスク**が高まります。また、たくさんの薬が処方されることで飲み間違いや飲み忘れも起こりやすくなります。特に高齢者は肝臓や腎臓の機能が低下していることが多く、薬の影響を受けやすいため、**ふらつきや転倒、意識障害などにつながり、日常生活に支障をきたす**こともあります。



もの忘れ

食欲低下

ふらつき
めまい

気分が
しずむ

その不調、
多剤服用が
原因かも
しれません。

おしっこが
出にくい

眠気

便秘

こんなリスクも

意識障害

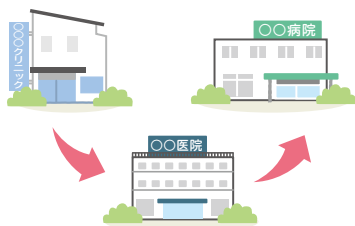
転倒



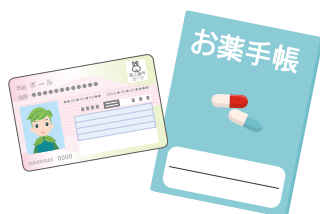
薬と上手に
付き合おう！

ポリファーマシーはこうして防ぐ

同じ病気やケガで複数の医療機関にかかる「**はしご受診**」を**控えましょう**。検査や投薬の繰り返いで体に負担がかかるうえ、医療費もかさみます。



マイナ保険証やお薬手帳を使うと、薬剤師等が過去の処方薬等を確認できる※ため、リスクを減らすことができます。



※マイナ保険証の場合は本人の同意が必要。

サプリメントを使っている場合は、医師や薬剤師に伝えましょう。



かかりつけ医とかかりつけ薬局をもって、服用中の薬の把握をしましょう。



ポリファーマシーを防ぐには、単に薬の数を減らせばいいというわけではありません。自己判断で勝手に服用を中止したり、数を減らしたりしないようにしましょう。